

令和 7 年度 東京都立調布北高等学校学校経営計画

1 目指す学校像

(1) スクールミッション

「自主自律、文武両道、文理両眼、グッドトライ」を目標とし、教科横断的な探究活動、大学や地域等と連携した理数教育、キャリア教育、国際理解教育といった教育活動を通じて、自己実現に向け主体的に努力し、他者と協働しながら飽くなき挑戦を続け、社会に新しい価値を提言できる生徒を育成する。

(2) スクールポリシー

ア アドミッションポリシー

- ① 新たな時代をたくましく生きるために、自ら考え行動できる生徒
- ② 限られた時間の中で最大の効果を発揮し、文武両道を実践できる生徒
- ③ 知的探究心をもって科学技術等の分野で活躍できる生徒
- ④ 積極的に挑戦する意欲をもって行動できる生徒

イ カリキュラムポリシー

生徒の個性や資質・能力に応じながら、文理両眼・教科を超えた幅広い学びと進路実現ができる教育課程

- ①探究活動の充実 ②理数キャリア教育の充実 ③国際理解教育の推進 ④大学や地域との連携

ウ グラデュエーションポリシー（育成を目指す資質・能力）

- ① **Critical Thinking**
(物事の本質を粘り強く問い続けながら主体的に考えること)
- ② **Creative Thinking**
(興味・関心を追求し、自由な発想、柔軟な思考をすること)
- ③ **Collaboration**
(自己調整力を育成し、多様性を受け入れ、他者と発展的に協働)

2 中期的目標とその達成に向けた方策

(1) 学習指導・国際理解教育・理数教育

ア 生徒個々に寄り添った授業を実現する。

イ 進学指導推進校として、生徒の進路実現を目指す。

ウ GE-NET EE 校として、五領域統合型の英語教育を進める。

エ 国際理解教育を推進し、国際社会に貢献できるグローバル人材を育成する。

オ 高等学校 DX 加速化推進事業校、理数教育における教科等横断的な学びに係る協力校、探究的な学び推進事業校として、生徒の探究心を刺激するための取組を充実させる。

カ 読書活動を推進する。

(2) 生活指導・健康づくり

ア 高校生として守るべきルールやマナーに関する生活指導や道徳教育を充実させる。

イ 主権者教育を推進し、地域及び社会に貢献できる生徒の育成を図る。

ウ いじめ・体罰のない学校を実現する。

エ 生徒の健康づくり、体力向上、安全管理、環境美化を徹底する。

(3) 進路指導

- ア キャリア教育を推進し、生徒一人一人の進路希望実現に向け、学校全体で取り組む。
- イ 早期の段階で生徒に高い目標を意識させ、最後まであきらめさせない進路指導を貫く。

(4) 特別活動

- ア 文武両道の理念のもと、特別活動の充実を図る。
 - ① 部活動への加入を奨励し、高い部活動加入率を維持する。
 - ② おほむらさき祭の実施を通して、生徒の帰属意識の高揚を図る。
 - ③ 生徒会活動・委員会活動の一層の充実を図る。

(5) 募集・広報

- ア 「調布北高校を第一志望とする生徒」の入学に向け、学校説明会・学校見学会等の広報活動を工夫・改善する。
- イ 学校ウェブサイトの充実を図る。

(6) 学校経営・組織体制

- ア 企画調整会議の機能を一層強化し、分掌部会、各学年との双方向性を整備する。
- イ 学校運営体制を整備し、TAIMS 端末・校内ファイルサーバーを活用して、情報を迅速・確実に共有する。
- ウ 教職員一人一人が高い倫理意識をもち、法規法令を遵守する。
- エ ライフ・ワーク・バランスの推進に向け、業務の精選・縮減を進める。
- オ 経営企画室の学校運営への参画を一層進める。
- カ 校舎改築を安全かつ円滑に進める。

3 今年度の取組目標とその達成に向けた具体的方策

(1) 学習指導・国際理解教育・理数教育

【目標】「生徒の進路実現を目指した授業」を創造するとともに、「生徒個々の将来を見据えた探究力」を育成する。

【方策】

- ア 授業の質をより高め、自ら学ぶ生徒を育てる。
 - ① 授業の中に生徒間の対話による学びを取り入れる。
 - ② 生徒の知的好奇心を呼び起こす授業づくりに努める。
 - ③ 課題・学習方法の複線化に取り組み、多様な生徒の学力向上に寄り添う。
 - ④ ICT機器、一人1台端末を効果的に活用する。
 - ⑤ 観点別評価についての理解を生徒及び教員共に深める。
- イ 授業以外の学習活動（平常、長期休業中の補習・講習・検定試験対応、校内予備校、自習室運営など）を活用し、生徒の学力向上を図る。
- ウ オンライン英会話、スピーチコンテスト、検定試験対応等のきめ細かい語学指導を実施し、「使える英語力」を向上させる。
- エ 語学研修、海外修学旅行、講演会等を活用した国際理解教育に取り組む。
- オ 文理を問わず、生徒の探究心を刺激し、科学的思考力を備えた人材を育成する。そのため、「総合的な探究の時間」では高大接続も活用し、探究学習に力点を置いた指導を行う。
- カ 教育活動の中で生徒個々の資質を高められる図書を推薦し生徒の読書率を向上させる。

【数値目標】

- ◇ 学習指導に対する生徒肯定割合 90%以上（前年度 89%）
- ◇ 国際理解教育に対する生徒肯定割合 90%以上（前年度 86%）
- ◇ 英語検定
 - ・ 1年 実用技能英語検定準 2 級以上 160名（前年度 152名）
 - ・ 2年 実用技能英語検定 2 級以上 150名（前年度 142名）
 - ・ 3年 実用技能英語検定 2 級以上 160名（前年度 143名）
- ◇ 読書未読率 30%以下（前年度 37%）

(2) 生活指導・健康づくり

【目標】「生徒に寄り添い、生徒と向き合う指導」を行い、自律した生徒を育成する。

【方策】

ア 高校生としてのけじめ・メリハリのある授業規律・生活規律を確立する。

- ① 全教職員が同じ方向で生活指導にあたる。
- ② 特に、マナー、遅刻、SNS、自転車通学に関する指導を徹底する。
- ③ 生徒の人権意識を啓発し、望ましい学校生活について生徒に考えさせる指導を行う。
- ④ 家庭及びPTAとの連携を図る。

イ 授業及び特別活動などの教育活動全体で、社会人としての意識を醸成する。

ウ いじめ、体罰調査のアンケート等を実施し、未然防止・早期発見・早期対応に努める。

エ スクールカウンセラー、コンディションレポートを活用し、生徒のSOSを把握することや心のケアなど教育相談機能の充実を図る。

【数値目標】

- ◇ 年間の学年集会 10回以上（前年度 12回）
- ◇ 1クラスあたり遅刻ゼロの日数年間 70日以上（前年度 71回）
- ◇ 自転車通学等の苦情ゼロの月数 12月（前年度 12月）
- ◇ 校内美化に対する生徒肯定割合 80%以上（前年度 80%）

(3) 進路指導

【目標】「高みを目指して最後まであきらめない進路指導の実現」を果たす。

【方策】

ア 生徒の成績推移等の個別データを全教員で共有し、担任、教科担任、部活動顧問などそれぞれの関わりの中でデータに基づいた励ましの指導を行う。

イ 進路講演会、個人面談、三者面談等、これまでの進学指導体制をより一層充実させ、最後まで一人一人の生徒に寄り添う進路指導体制をつくる。

【数値目標】

- ◇ 現役生の大学合格者数
 - ・ 難関国立四大学 2名以上（前年度 0名）
 - ・ 国公立大学 50名以上（前年度 34名）
 - ・ 早慶上理 55名以上の合格者を目指す。（前年度 39名）
- ◇ 大学入学共通テスト
 - ・ 国公立大学受験型の受験者数 80名以上（前年度 59名）
- ◇ 長期休業期間の講習 450時間以上（前年度 469時間※校内予備校 160回を含む）

(4) 特別活動

【目標】「生徒全員チーム一丸となった文武両道」を実現する。

【方策】

ア 生徒の自主的・自律的な活動を推進するため、生徒同士が切磋琢磨、成長できる環境を教員が支える。

- ① 新入生への部活動参加を奨励する。
- ② 体育部門、合唱部門、文化部門を一層充実させ、全校生徒の成就感や達成感を高める。
- ③ 教員が生徒会活動・委員会活動を積極的に支援し、生徒の自主的・自律的な活動を推進する。

【数値目標】

- ◇ 部活動参加率 95%以上（前年度 96,4%）
- ◇ 学校行事や部活動に対する生徒肯定割合 88%以上（前年度 86%）

(5) 募集・広報

【目標】「調布北の特色・強み」を積極的に発信する。

【方策】

ア 中学生に本校の特色・強みを理解してもらうため、生徒会等の協力を得た広報活動を実施する。

イ 学校ホームページの更新を適時に実施する。

【数値目標】

- ◇ 本校志望者の倍率
 - ・ 中学校長会進路対策委員会発表志望調査 1.5 倍以上（前年度 1.34 倍）
 - ・ 推薦選拔出願者倍率 2.0 倍以上（前年度 1.85 倍）
 - ・ 学力検査出願者最終応募倍率 1.8 倍以上（前年度 1.73 倍）
- ◇ ホームページの更新回数年間 180 回以上（前年度 120 回）

(6) 学校経営・組織体制

【目標】「組織的な学校運営体制」を構築する。

【方策】

ア 教職員の経営参画意識を高め、学校経営上の課題については、横断的に検討する体制を整える。

イ 打合せ、会議、会議記録の回覧、校内ファイルサーバにより、教職員の情報共有・共通理解を図る。

ウ 教職員のコンプライアンス意識を醸成し、サービス事故ゼロを達成する。特に、個人情報に関わる事故や体罰・不適切な指導といった事故を絶対に生じさせない。

エ 前年度踏襲ではなく、学校の特色化・魅力化の観点から業務を企画・実施する。

オ 経営企画室による教育活動の支援を進める。

- ① 来校者等への丁寧な接遇
- ② 計画的・効率的な予算執行
- ③ 行政系職員の視点に立った教育活動への提言
- ④ 施設設備の定期的安全点検・安全管理及び迅速な修繕の徹底

カ 校舎改築に伴う課題を全教職員で共通理解し、教育活動への支障を最小限にとどめる準備を行う。

【数値目標】

- ◇ 調布北高校入学満足度に対する生徒肯定割合 95%以上（前年度 94%）
- ◇ 教科会の開催回数月 1 回以上（前年度月 1 回以上）
- ◇ 自律経営推進予算のセンター執行率 50%以上（前年度 42%）